

## 第 391 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 5 年 5 月 9 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX GOOD-TIE!  
[放送日時] 令和 5 年 5 月 1 日(月)・令和 5 年 5 月 3 日(水)  
11:30～14:55  
[出演者] 5/1 (月) 杉岡紗絵子・5/3 (水) 鈴木愛実
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康  
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治  
委員 小野晃司 委員 土屋維子  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部専任部長 鈴木秀明  
編成制作部副部長 安原明子
5. 事務局報告 ○ K-MIX の、新年度の体制と編成の一か月経過現在の報告。

### 6. 番組審議

- [番組名] K-MIX GOOD-TIE!  
[放送日時] 令和 5 年 5 月 1 日(月)・令和 5 年 5 月 3 日(水)  
[出演者] 5/1 (月) 杉岡紗絵子・5/3 (水) 鈴木愛実  
[番組内容] 聴けば静岡の今とつながる！  
放送内の時間毎、聴取者であったり、人気店の店主の方であったり、番組のスポンサーであったり…と、様々な”人”と”番組”をリアルタイムでつないで、また、番組に寄せられるメッセージを通して、番組と聴取者、さらに聴取者同士をつないで行く番組。

#### [聴取・合評での主な意見]

角田副委員長

まず、月曜日から木曜日までの 4 日間、番組を貫く、番組冒頭の「テーマソング」が大変良いクオリティで好印象を持った。

杉岡さんは、トークに明るさがあり、聴き手の気持ちを高揚させてくれる。一方、鈴木さんは、数年のキャリアながらも、言葉の引き出し力と会話の相手に対する対応力が良い。2 人のトークは、とても共通点が多く、1 人のパーソナリティが番組を進行しているように聴こえる

時がある。これから、番組が回を重ねるごとに2人の役割と個性が良い意味で分かれて行くように演出して行くことで、より楽しい番組になると思われる。

#### 服部委員

パーソナリティの声質は確かに似ていると感じるが、放送実時間に車中で聴くと2人とも、「歯切れがよく、明るくて」非常に聴きやすい。聴取者と会話しながら、番組タイトルをコール後テーマソング、というなかなか難しいオープニングなので、番組冒頭から聴取者を引き込む2人の力量が問われるだろう。飲食店・店主へのインタビューでは、お店の一押しメニューや美味しさが伝わり、足を運びたいと思わせるようなトークだとさらに良い。毎回、様々な登場人物がいて場面展開が多く、楽しめる番組だと思う。

#### 加藤委員

昨年度までの同時間の番組に対して、方向性が変わったことがわかると同時に、番組のコンセプトである”つながる”が番組全体に反映されており、コンセプトと実番組が一致している。両パーソナリティ共、”つながり”を意識してトークしているし、それぞれは、自分らしさを出そうとする意気込みを感じる。番組の日替わりのテーマもいわゆる小ネタや、聴き手の側に共感を与えるものがあり、番組に入り込めて面白い。全体的に、前年度までと番組雰囲気が変わり、今どきを感じるので、これからどう変わって行くのかが楽しみな番組である。

#### 小野委員

番組のテーマ曲が心地よく、その曲が持っているほのぼの感がそのまま、パーソナリティ2名のイメージに合っている。パーソナリティのトークは、それぞれの個性の違いが出ているが、声のトーンは似ていると感じる。前年度の番組との変化が大きいと思うが、変わるということ自体を評価したい。他者を活かして自分の魅力を引き出す方法は良いと思う。引き出し方が、今のところ、インタビューとメッセージ紹介と数は少ないと思うが、他の方を活かして行くという意欲を2人のパーソナリティに感じるので、これからを楽しみにしたいと思う。

#### 土屋委員

盛りだくさんの内容で進めていた、前年同時間帯の番組に対して、何かしらのテーマに沿った個性豊かな番組内のコーナーが少ないので、率直に、3時間×4日間は、続けられるのか。シンプルな構成で、番組参加への敷居が低くなった反面、昨年度までの1日2人パーソナリティとは違う、1パーソナリティで切り盛りできるのかが心配要素と感じた。

それ以外は、パーソナリティのトーク力の高さ、テーマ曲の番組全体に伝わる雰囲気等、心地よく聴かせてくれる。追々、パーソナリティらしさが出る、コーナーを番組内に入れて行くことをお勧めしたい。

木宮委員長

昼間の時間帯に、聴きやすいパーソナリティ・トーク、テーマ、内容で、今年度4月スタートから1ヶ月の感触としては、好結果が出ていると思われる。これからさらに番組の楽しさを増すために、テーマトークでパーソナリティ自身の事を話して親近感を持ってもらおうと、聴取者に人となりが見えて良いのではないかと。また、冒頭のリスナーコーナーについては、若干長く感じるのでは、オープニングテーマを途中で挟むなどの工夫があるとなお良いのではないかと。

杉岡さんはマイクを前にしている姿が目につかぶようなトークができていて、鈴木さんはこれまでの掛け合いトークの経験や箱番組での1人トークの結果が出ている。

他の番組では行っていない”つながり”の方法

(生放送番組の同時刻に聴取者同士でやり取りをし、その模様を生放送で取り上げさらに、”つながり”を強くする。)を考え、実行してみても如何だろうか。

番組のコンセプトとその表現手法としてのゆったり感、雰囲気の良さは、十分に出来ているため、新番組としては、及第点のスタートと思われる。K-MIXの看板番組の1つになるように期待したい。

会社サイド

番組開始からまだ、1ヶ月であり、これからの番組なので、今回いただいたご意見を参考にし、今後の番組展開に取り組んでいきたいと考えます。貴重なご意見をありがとうございます。

以上

次回開催日 令和5年6月13日(火) 11:00~13:00を予定

番組審議会委員長

木宮敬信